

34  
王し三十七  
聖徒伝 255

# 滅びを招く 偽りの回心

エレミヤ書 34章

ゼデキヤの末路・偽りの解放

■ 主を裏切ったという経験はありますか？

■ 「ある」と、痛みを持って答える人は、幸い。

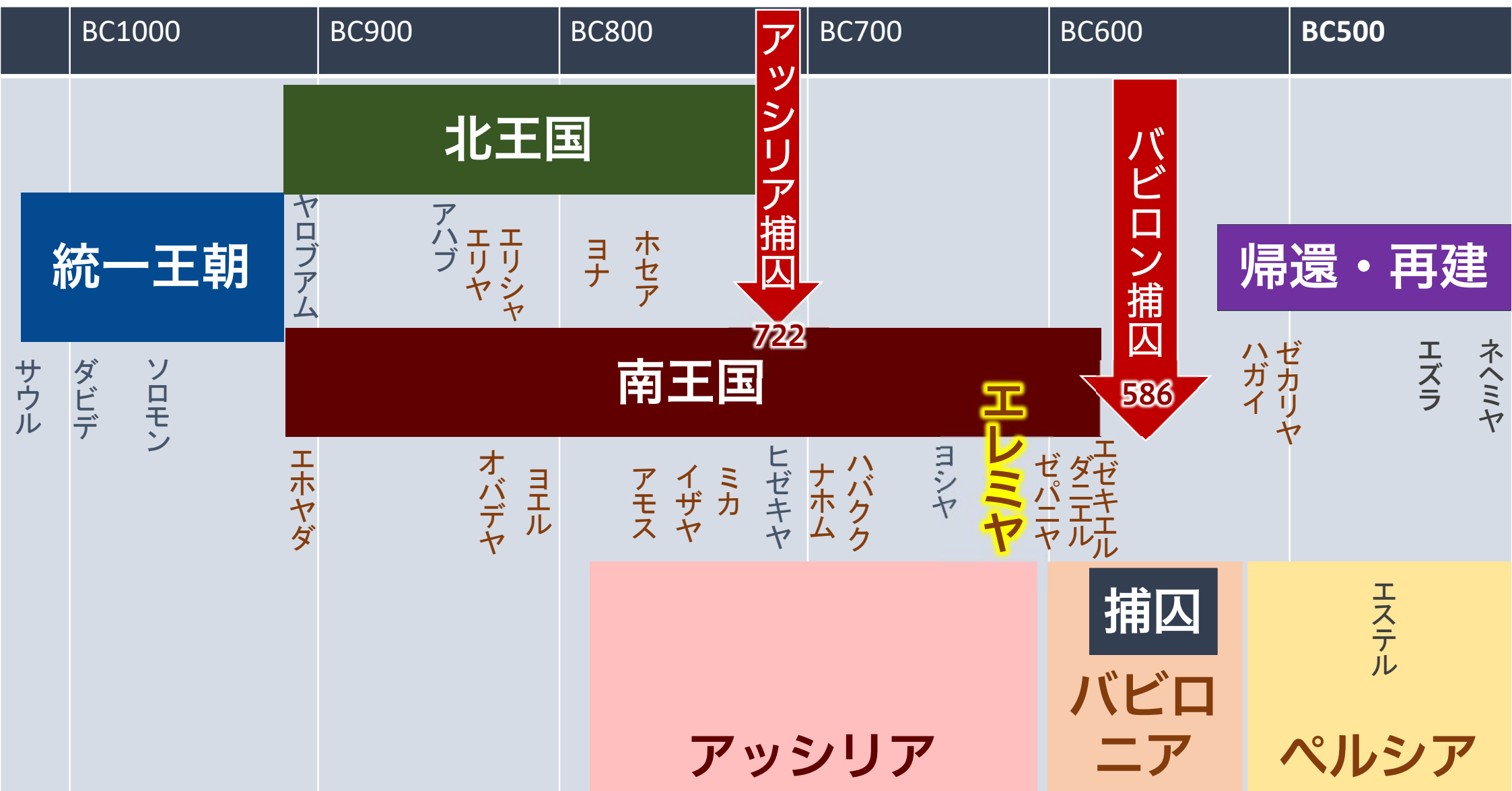
■ 12弟子も、筆頭のペテロすらも主を裏切った。  
アブラハムも、ダビデも、ソロモンも。

■ 主への裏切りの末路を、最後の王ゼデキヤに学ぼう



# 0. イントロダクション

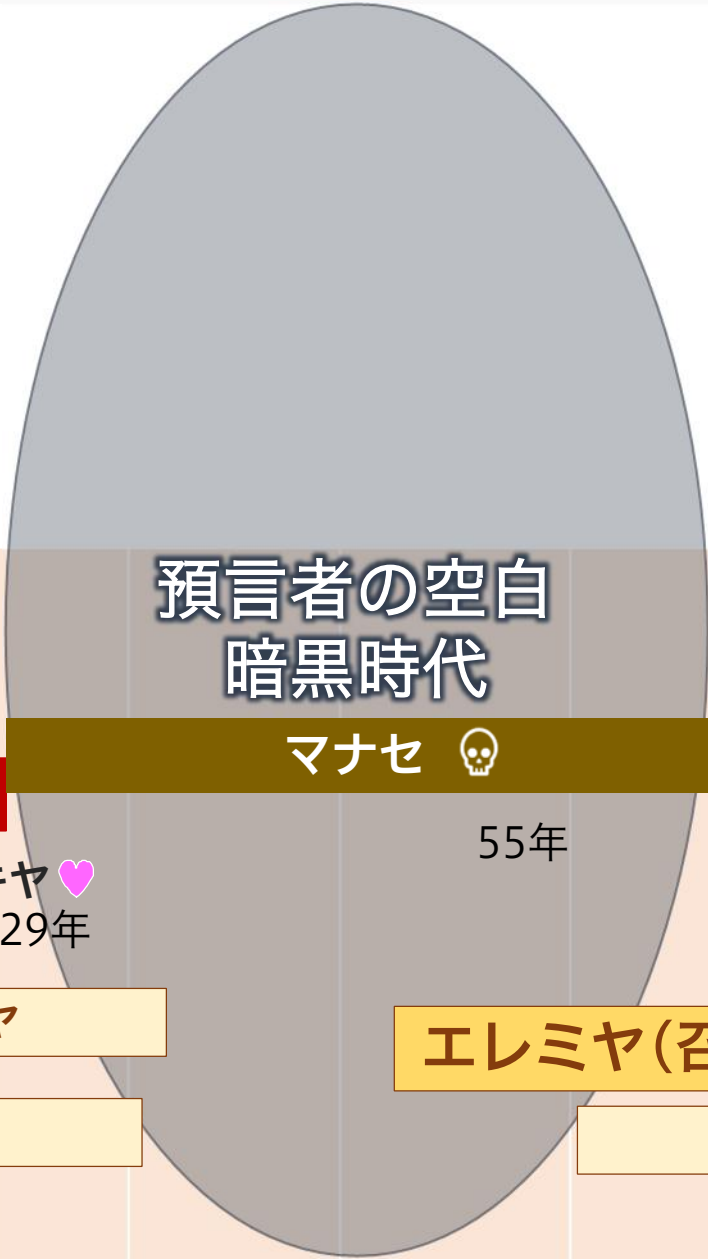
# イスラエル王国史



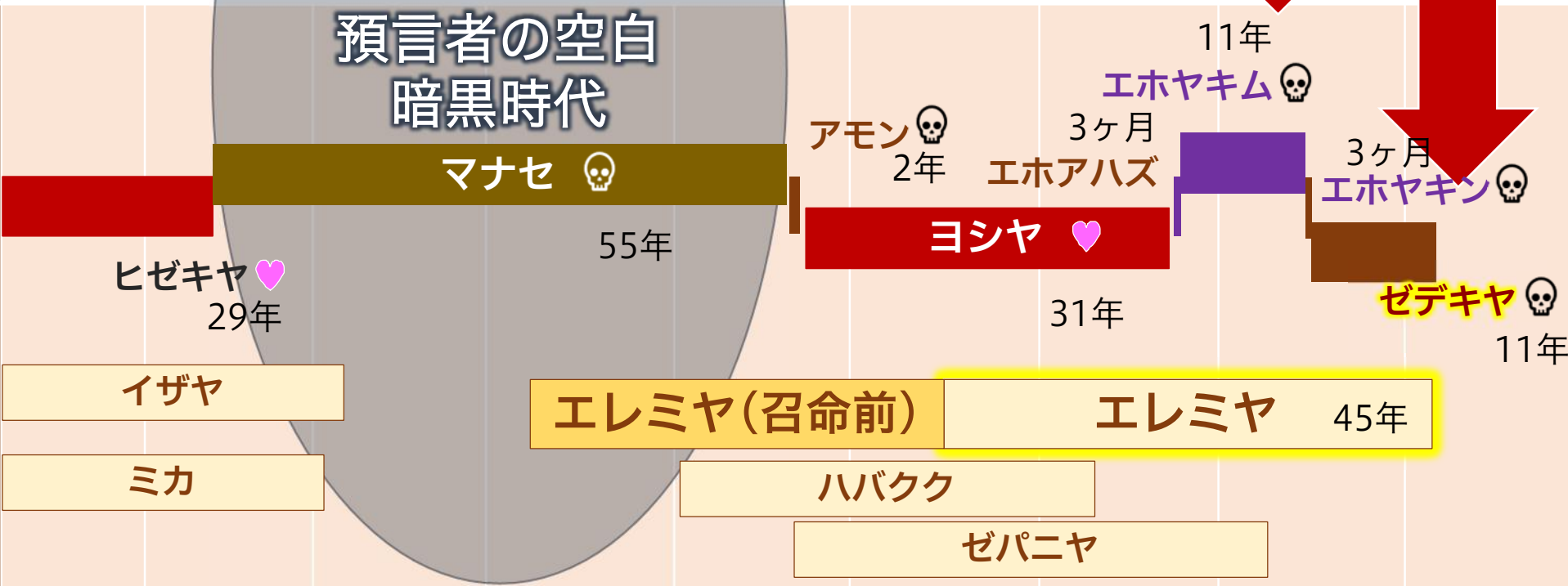
イスラエル 北王国

アッシリア捕囚  
BC722年

南王国 ユダ



預言者の空白  
暗黒時代



バビロニアの侵略

バビロン捕囚

## 前章までの振り返り

- 31章で、エレミヤに示された「**新しい契約**」。  
主がイスラエルを回復させ、  
主に信頼するすべての者の心に、神の法を刻まれる。
- バビロニアの脅威が迫る中、監禁中のエレミヤに、  
**土地の買い戻し**の権利の執行が求められた。  
示されたのは、約束の地への帰還。回復の希望。

**回復の希望が告げられる一方、目の前に滅びが迫る**

# 偽りの回心は、滅びを招く

- ①悪王の末路 1～7
- ②偽りの回心 8～11
- ③王国の末路 12～22

## ■まとめと適用

二重の背信に陥らないように!!



裁きが偽善を挟む  
最悪のサンドイッチ



**①悪王の末路**

エレミヤ書34章1～7節

## ①悪王の末路

• エレ34:1

バビロンの王ネブカドネツアルとその全軍勢、および彼の支配下にある地のすべての王国とすべての民族が、エルサレムとそのすべての町を攻めていたとき、【主】からエレミヤに次のようなことばがあった。

■ バビロニアの猛攻のただ中での主の御告げ。



バビロニアの浮彫

## ①悪王の末路

・ エレ34:2～3

「イスラエルの神、【主】はこう言う。行って、ユダの王ゼデキヤに告げよ。『【主】はこう言われる。見よ、わたしはこの都をバビロンの王の手に渡す。彼はこれを火で焼く。

あなたはその手から逃れることができない。あなたは必ず捕らえられて、彼の手に渡されるからだ。あなたの目はバビロンの王の目を見、彼の口はあなたの口と語り、あなたはバビロンへ行く。

■ゼデキヤ王は捕囚となる



バビロニアの浮彫

## ①悪王の末路

• エレ34:4~5

ただ、【主】のことばを聞け、ユダの王ゼデキヤよ。【主】はあなたについてこう言われる。あなたは剣で死ぬことはない。

あなたは平安のうちに死ぬ\*。人々は、あなたの先祖たち、あなたの先にいた王たちのために埋葬の香をたいたように、あなたのためにも香をたき、ああ主君よ、と言ってあなたを悼む。このことを語るのはわたしだ——  
【主】のことば。』」

\*戦時ではなく平時に獄死(エレ52:11)

■ゼデキヤの死の預言は最初で最後。



バビロニアの浮彫

## ①悪王の末路

• エレ34:6~7

そこで預言者エレミヤは、ユダの王ゼデキヤに、エルサレムでこれらすべてのことばを語った。

そのとき、バビロンの王の軍勢は、エルサレムとユダの残されたすべての町、ラキシユとアゼカを攻めていた。これらが、ユダの町々で城壁のある町として残っていたからである。

■ エルサレムの周囲の町々も続々と陥落。

**刻一刻と滅びは迫る!!**



バビロニアの浮彫

## ①不信仰の末路

「さらに、ゼデキヤの目をつぶし、彼を青銅の足かせにつないだ。バビロンの王は、彼をバビロンへ連れて行き、彼を死ぬ日まで獄屋に入れておいた。

エレ 52:11」

■目の前で、息子たちを惨殺され、拳げ句、獄死。

**歴代の悪王の道を進み、悔い改めを拒み続けた末路**



## ②偽りの回心

エレミヤ書34章8～11節

ユダの荒野

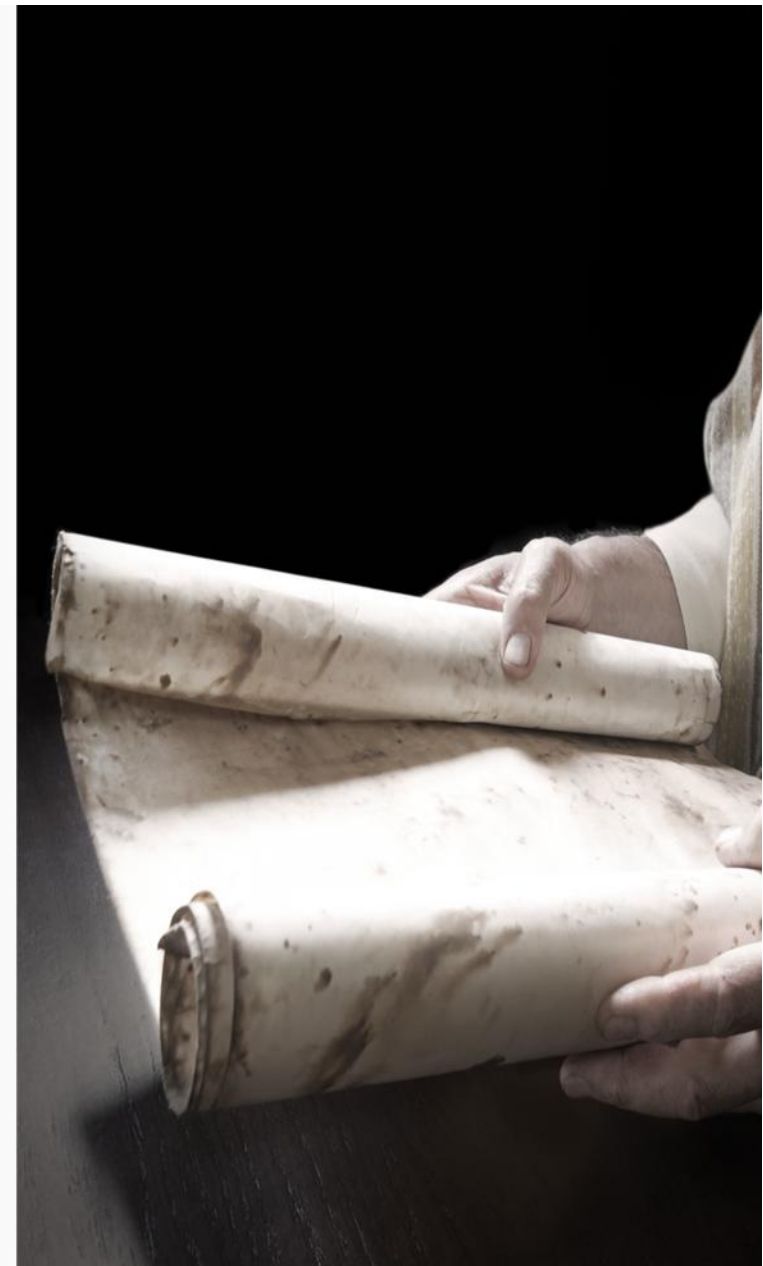
## ②主への背信 解放の宣言 エレ34:8～9

ゼデキヤ王がエルサレムにいる民全体と契約を結んで、彼らに奴隷の解放を宣言した後、【主】からエレミヤにあったことば。

その契約は、各自が、ヘブル人である自分の奴隷や女奴隷を自由の身にし、同胞のユダヤ人を奴隷にしないというものであった。

■主が告発したイスラエルの大罪の一つが、同胞を奴隷にしていたこと。

➡ゼデキヤは悔い改めた？



## ②主への背信 王の翻心 エレ34:10~11

契約に加わったすべての首長と民は、各自、自分の奴隷や女奴隷を自由の身にして、二度と彼らを奴隷にしないことに同意し、同意してから奴隷を去らせた。

しかしその後で、彼らは心を翻した。そして、いったん自由の身にした奴隷や女奴隷を連れ戻し、強制的に彼らを奴隷や女奴隷の身分に服させた。

■解放後、再び自由を奪う罪の深さ!!



## ②偽りの回心

「あなたは、エジプトの地で**奴隷**であったこと、そして、あなたの神、【主】があなたを贖い出されたことを覚えていなければならない。それゆえ、私は今日このことをあなたに命じるのである。申15:15」

■主がイスラエルを**奴隷**から贖い出された。

奴隷の解放は、主の救いの御業を覚えること。

**偽りの回心は、主への二重の背信 罪の極み**



### ③ 王国の末路

エレミヤ書33章12～22節

ユダの荒野

### ③王国の末路

・ エレ34:12~13

すると、【主】からエレミヤに次のような【主】のことばがあった。

「イスラエルの神、【主】はこう言われる。  
『わたしが、あなたがたの先祖をエジプトの地、奴隷の家から導き出した日に、わたしは彼らと契約を結んで言った。』

■主が思い起こさせるのは、モーセ契約。  
イスラエルを神の民たらしめる礎の契約。



シナイ山

### ③王国の末路

• エレ34:14

「七年の終わりには、各自、自分のところに売られて来た同胞のヘブル人を去らせなければならない。六年の間あなたに仕えさせ、その後あなたは彼を自由の身にせよ\*」と。しかし、あなたがたの先祖は、わたしに聞かず、耳を傾けもしなかった。

\*出21:2

■ エジプトの奴隷生活から主が贖われた。  
主の解放を覚えるための契約だったが…。



### ③王国の末路

• エレ34:15

ところが、あなたがたは今日、立ち返って、各自が隣人の解放を告げてわたしの目にかなうことを行い、わたしの名がつけられているこの家で、わたしの前に契約を結んだ。

それなのに、あなたがたは心を翻して、わたしの名を汚した。あなたがたは、それぞれ、いったん彼らの望むとおりに自由の身にした奴隷や女奴隷を連れ戻し、強制的に彼らをあなたがたの奴隷や女奴隷の身分に服させた。』

■ 律法に立ち返ったのは一瞬。即、反故に!!



### ③王国の末路

・ エレ34:17

それゆえ、【主】はこう言われる。『あなたがたはわたしに聞き従わず、各自、自分の同胞や隣人に解放を告げなかったので、見よ、わたしはあなたがたに——【主】のことば——**剣と疫病と飢饉の解放**を宣言する。わたしは、あなたがたを地のすべての王国にとって、おののきのもとにする。

- 主が厳しい裁きの御業を解き放たれる。  
その激しさに、世界中の民がおののく。



荒野の茨

### ③王国の末路

・ エレ34:18~19

また、わたしの前で結んだ契約のことばを守らず、わたしの契約を破った者たちを、彼らが二つに断ち切ってその二つの間を通った、あの子牛\*のようにする。

ユダの首長たち、エルサレムの首長たち、宦官と祭司と民衆すべてが、二つに分けた子牛の間を通った者たちである。

\*神とアブラハムの血の契約(創15章)

➔裂いた犠牲の間を通り、契約を締結。

イスラエルは、神と契約を結んだ民



恵みの契約を  
思い知らせるため  
の裁き

### ③王国の末路

・ エレ34:20～21

わたしは彼らを、敵の手、いのちを狙う者たちの手に渡す。その屍は空の鳥や地の獣の餌食となる。

また、わたしはユダの王ゼデキヤとその高官たちを、敵の手、いのちを狙う者たちの手、あなたがたのところから引き揚げたバビロンの王の軍勢の手に渡す。

■ 荒野の屍が食い尽くされるように、エルサレムも滅ぼし尽くされる。



ジャッカルとハゲワシ

### ③王国の末路

・ エレ34:22

見よ。わたしは命じて——【主】のことは——彼らをこの都に引き返させる\*。彼らはこの都を攻め取り、火で焼く。わたしはユダの町々を、住む者もない荒れ果てた地とする。』」

\*三度目の捕囚で、エルサレムは廃墟に。



### ③王国の末路

もし、それでも、わたしのこの懲らしめをあなたがたが受け入れず、わたしに逆らって歩むなら、わたしもあなたがたに逆らって歩む。また、わたしは、あなたがたの罪に対して七倍重くあなたがたを打つ。

レビ26:23～24

**偽りの回心は主への二重の裏切り 報いは重い**



**まとめと適用**

二重の背信に陥らないように

ユダの荒野

- ①悪王の末路 ……最初で最後のゼデキヤ王の死の宣告
- ②偽りの回心 ……主の律法への回帰?!  
奴隷解放の宣言は反故!!
- ③王国の末路 ……偽りの回心への厳しい報い。  
「剣と疫病と飢饉の解放」

偽りの回心で二重に主を裏切った末の厳しい裁きが!!

## まとめ

## それでも残る 主の憐れみと救いの希望

「また、わたしの前で結んだ契約のことばを守らず、わたしの契約を破った者たちを、彼らが二つに断ち切ってその二つの間を通った、あの子牛のようにする。(18節)

ユダの首長たち、エルサレムの首長たち、宦官と祭司と民衆すべてが、二つに分けた子牛の間を通った者たちである。(19節)」

■ アブラハムとの血の契約。実際に通ったのは、**主の栄光**のみ。  
(煙の立つかまど、燃えているたいまつ)

**裁きが下っても、恵みの契約は、破棄されない!!**

①20代目・ゼデキヤ

…息子たちを惨殺。目を潰され。  
捕囚先で死ぬまで獄に。

➔回心も偽り。主に背き通した

②19代目・エホヤキン

…捕囚先で37年目に獄から解放  
王の憐れみを受けて食卓を共に

➔甘んじて主の裁き(捕囚)を受容  
最後の最後に回心

最後まで差しのばされ続ける主の御手がある

- ①ユダ …回心の促しも拒絶。主を裏切り、売り渡した。  
偽善の祭司に裏切られ、自殺。  
遺体は、永遠の滅びを示すヒノムの谷へ遺棄。
  
- ②ペテロ …逃げだし、三度主を否み、呪いの言葉すら吐いた。  
悲嘆に暮れ、悔い改めて、教会の指導者に。

罪の重さは同様 違いは、「悔い改めたか否か」だけ

## 適用

## 二重の背信に警戒しよう

- 罪の奴隷から贖い出された者が主に背けば、**二重の背信**に。
  - ① イスラエルは、**二重の背信**を咎められ、厳しく裁かれた。
  - ② ゼデキヤ王も、**二重の背信**の結果、厳しい裁きを招いた。
  - ③ 主イエスが、厳しく警告した宗教者の偽善も、**二重の背信**。
- 預言も主イエスの警告も、第一にイスラエル、教会に対して

**二重の背信・偽善という罪の重さを知ろう**

## 適用

## 信仰者の警戒すべき態度

■ 使命を忘れた選民意識が、背信をもたらす罠になる。

→ 祭司の民としての使命を忘れたイスラエルの傲慢

例) 異邦人への優越感　サマリア人への差別

→ 未信者への態度に表れる、クリスチャンの傲慢

例) 進化論を信じる者は愚かと激高し揶揄するクリスチャン

「外部の人たちをさばくことは、私がすべきことでしょうか。  
あなたがたがさばくべき者は、内部の人たちではありませんか。」

Ⅰ コリ 5:12

**主の戒めは、第一に私たち信仰者に向けられている!!**

## ★ 二重の背信に陥らないように ★

一度光に照らされ、天からの賜物を味わい、聖霊にあずかる者となって、神のすばらしいみことばと、来たるべき世の力を味わったうえで、墮落してしまうなら、そういう人たちをもう一度悔い改めに立ち返らせることはできません。彼らは、自分で神の子をもう一度十字架にかけて、さらしものにする者たちだからです。

ヘブル6:4～6

**必ず悔い改めに導かれるのが、真の信仰者と知ろう**

てん とう わたし つみ  
「天のお父さま。私たちの罪をゆるしてください。

わたし かみ みこ しゅ  
私たちは、神の御子、主イエス・キリストが、

わたし つみ あがな じゅうじか し  
①私たちの罪を贖うために十字架で死なれ、

はか ほうむ  
②墓に葬られ、

みっかめ ふっかつ しん  
③三日目に復活されたこと、を信じます。

しん わたし つみ おか く あらた ゆる  
信じてなお、私たちは罪を犯しますが、悔い改めて赦されます。

たよ かた しゅ しんじつ わたし こころ きざ  
頼るべき方は主だけです。この真実を私たちの心に刻んでください。

ひび わたし こころ う くだ みたま み  
日々、私たちの心が打ち砕かれ、御霊に満たされていきますように。

しゅ あわ しゅくふく うち しゅ しょうにん つか  
主の憐れみと祝福の内に、主イエスの証人として遣わしてください。

しゅ な いの  
主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」